

登山らしさを求めて!



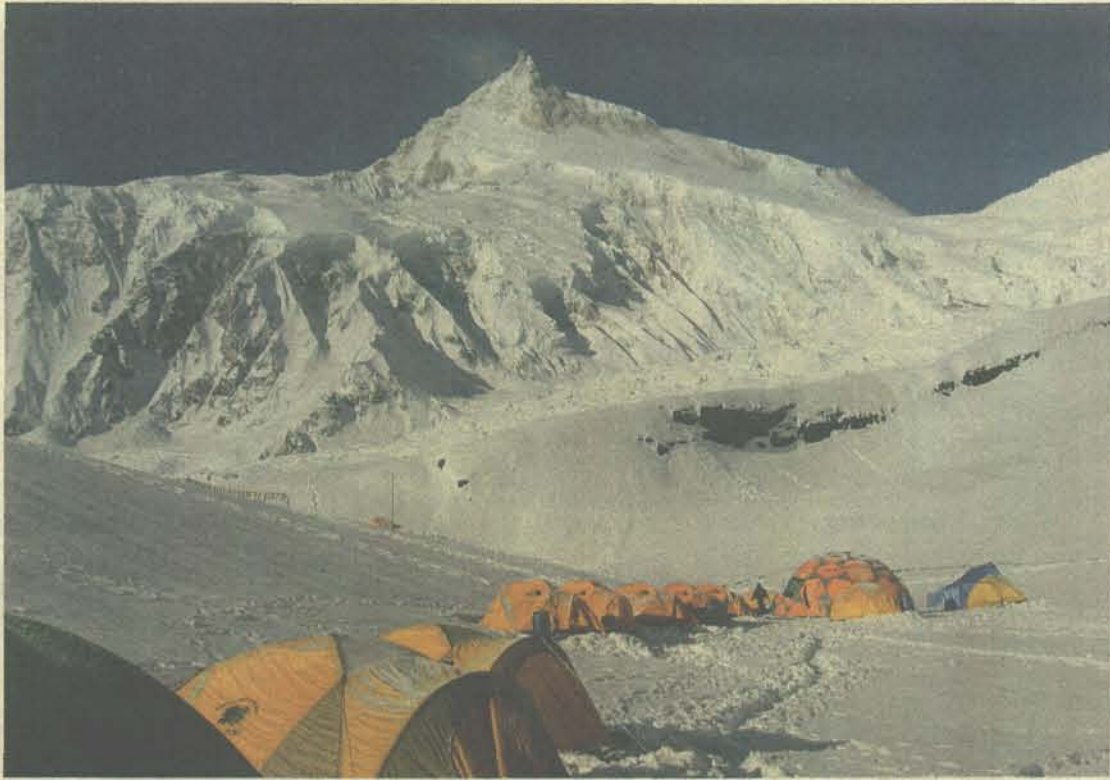
日本勤労者山岳連盟
Japan Workers' Alpine Federation
〒162-0814
東京都新宿区新小川町5番24号
TEL 03(3260)6331(代)
FAX 03(3235)4324(代)
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は
フリーダイヤル
0120-44-2742
(平日10時~18時)
E-mail: jwaf@jwaf.jp

特別実証区が活動開始

第28期第2回評議会開催

日本勤労者山岳連盟第28期第2回評議会が、2月21日と22日に東京の晴海グランドホテルで開催された。49地方連盟中37地方連盟から43名の評議員と全国連盟役員47名、来賓1名、オブザーバー3名の総計94名が出席した。



新雪に埋まる登山全国連盟八千m峰登山隊のマンスルベースキャンプ(09年4月14日)

登山コミュニケーション入力開始
全国連盟HPのクラブ紹介に統一フォーマットを設定。近日中に入力用紙が届くので、必要事項を記入し返送。順次掲載。



全国評議会で挨拶する議長団

熱心な議論を繰り広げ、この評議会では「仲間とともに、21世紀の『登山らしさ』を求めて!」を合い言葉に、昨年の第28回総会と第28期第1回評議会を振り返り、確認された課題と目標についての

理事報告と新保険業法から避難対策基金守るた(山々)と先週開催された全国雪崩講習会で発生した千畳敷の大雪崩の写真、安全登山システムの概要が報告された。初日の夕食後は交流会の前にメディア戦略の環境でホームページに掲載

マンスル(8163m)登頂

全国連盟八千m峰登山隊

現地時間の5月19日、古川太亮隊長、マナスル登山に成功。翌5月20日の13時17分に近藤謙一隊長、勝野



5月19日 山頂基部に立つ古川隊員(上の写真) 頂上鞍部からマンスルの山頂を望む(下の写真)

無酸素だった。古川隊長はもしかしたらこの山の最高齢登頂の可能性があるので現在、問い合わせ確認中だ。また、近藤隊長はこれで8座目(シシャパンマ中央峰を含む)の八千m峰登頂となった。



UAAA会議の参加者(登山事務所)

海外からの参加者たちは、登山事務所の3F図書ルームや屋上のソーラーパネルを見学し、「いい事務所だ」と褒めてくれた。香港の代表はスポーツクライミングを得意とし3Fの人工壁をかなり上まで登り、こちらをヒヤヒヤさせた。また初めてこの会議に参加した韓国の女性クリスティン・パエさんは八千m峰いくつか登っている高所クライマーとのことだった。

秀次郎隊長、マンスル登頂に成功。30日間の登山活動期間を使い切ってもC3(6700m)までしか達せられなという持続的な悪天候に予備の10日間をも投入した結果、やっとなかなかその時しかなかった好天機に2次4隊員と6日APが登頂にこぎつけた。隊員では勝野隊長が無酸素だった。

4月18日、ネパール、中国、台湾、韓国、香港から6名の代表と日本山岳協会から田中会長他3名の役員を迎えて、全国連盟事務所初めての国際会議が開催された。07年の松本総会で理事

総会では昨年のイラン総会の議事確認とUAAA事務局長の承認、今年度の香港総会の日程、国際山岳連盟名譽会員の推薦、今期の活動(温暖化シンポジウム、合同登山隊)などが討議された。事務局長にはネパールのアン・カシ・シエルバ氏(ネパール山岳協会事務局長)が承認され、総会は10月24日に開催されることが決まった。

総合戦略(特にホームページの活用)に組織拡大の期待が寄せられた。50周年を翌年に控え記念事業については記念講演の内容、記念登山(国内外)の概要、50周年記念誌についてなど具体的な話が話し合われた。まとめとして以下の内容を確認した。組織強化・拡大をとおして登山界の衰退傾向に歯止めをかける推進役になる。「登山らしさ」とは国民に登山の楽しさを広く伝える、登山文化の発展継承に貢献する、派遣村への支援などである。50周年には今後の発展の指針となるような行事をしたい。

登山時報

わたしの一名山 写真公募のご案内

登山時報カラー4ページに掲載
応募条件 登山会員
応募方法 一つの山、一つの山域をボジフィルムで5~10点送付
デジタルデータも受け付けています。
山域、山名、所属団体、氏名、住所、連絡先を明記して全国連盟事務所まで郵送
選考結果は連絡します
謝礼:採用された方に1万円の図書カード

山の仲間へ「登山時報」

「登山時報」をご購読下さい

発行 日本勤労者山岳連盟
行先 300円
届く 各会を通じて申込み下さい。
発定 日本勤労者山岳連盟
中 間 合 せ

09年度の重点課題

ポイントは5つ

1. 組織戦略の要(かなめ) 難対策基金を守るための具体的なスタートさせる。今年度さまざまなトライアルを行い、2010年度には新組織戦略の新たな目標を策定しつつ、新メディア戦略を軌道に乗せる。

2. 新保険業法から労山連 難対策基金を守るための具体的なスタートさせる。今年度さまざまなトライアルを行い、2010年度には新組織戦略の新たな目標を策定しつつ、新メディア戦略を軌道に乗せる。



5月11日の国会内集会で報告する労山役員

3. 登山団体として地球温暖化問題に対応するための諸活動を行う。自然保護委員会を中心に、「労山自然保護憲章」の実践化に努力すると共に、「低炭素登山」の具体化を提案する。国内山岳団体、自然保護団体、一層の努力を行う。地方連盟や労山の多くの会員がともに参加し、創立50周年を祝える行事にしたい。

4. 依然として多発する労山内事故なかでも死亡事故の減少に、格段の努力を行う。また登山のナショナルセンターの組織としての、社会的・公益的活動として未組織登山者対策や啓蒙活動などに努力する。

5. 来年の創立50周年の記念行事の準備活動の進行に一層の努力を行う。地方連盟や労山の多くの会員がともに参加し、創立50周年を祝える行事にしたい。

毎月国会行動

共済懇話会が活動

「共済の今日と未来を考える懇話会」では秒読みとなった総選挙を前に、国会議員への要請行動を強めている。09年に入り毎月国会議員会館を中心に行動を行い、請願署名の引受、自主共済の適用除外への賛同書の提出、院内集会への国会議員参加を求めている。

1月、通常国会が開催されることになり、29・30日の両日にわたり全国から100名を超える参加者で行った。30日は「全国学習交流集会」とし30に増えた地方懇話会の経験を出し合っ、財政的に自立」など6つの特徴を掲げて適用除外を勝ち取りたい。

異常気象の中で実施

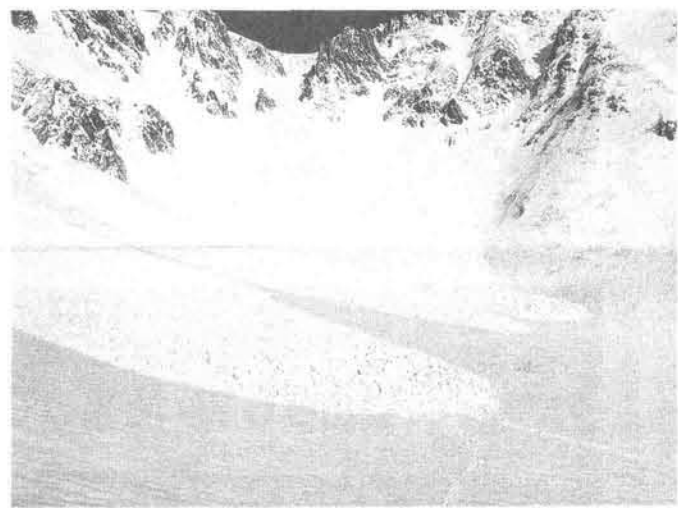
第23回全国雪崩講習会

宝剣会場は2月13日から2泊3日実施。受講生は基本12名、中級4名、講師養成1名の17名に講師9名、スタッフ3名の合計29名で開講した。

異常気象といってもよい2月中旬の標高2600mで雨が降るといふ悪条件で行われたが、千畳敷カール全体が雪崩に覆われるという心配がなかった。

宝剣会場は2月14日から2泊2日で受講生は基本6名、実践2名の8名に対し講師8名、スタッフ1名と手厚い講習になった。

こちらも気温が高く降雪とすることもあり初日は妙高杉ノ原スキー場で実施。標高が高いことと実際に雪崩事故が発生するゲレンデのため黒姫スキー場と比べると今までの内容の濃い講習となった。



中央アルプス千畳敷カールで発生した大雪崩

労山新特別基金

4月1日からスタート

労山新特別基金の性格と運営について

労山新特別基金 規定

1. 新保険業法の下で求められる新特別基金の性格

第1章 総則

第1条 【目的】 日本労働者山岳連盟(以下「新保険業法」適用除外団体)は、適用除外団体以外の団体における保険・共済活動を規制しており、新特別基金を運営するにあっては、次のような性格が求められる。

①新基金制度が労山の活動と一体不可分の運営であること。

②新基金制度は、会員と運営本体内において債権債務の関係が生じないこと。

③新基金制度は、対価性や収益性を生じさせるものではないこと。

2. 労山新特別基金の位置付けと運営

①労山新特別基金は、会員・山岳連盟の活動における救助活動や遭難予防の活動を財政的に保障するための寄付金制度である。

②寄付金の額は、団体・個人の任意による。

③単年度ごとに決算し、収益性を伴う資産や負債は次年度に繰り越さない。

④予算・決算の承認は、全国連盟総会・評議会が行う。

3. 労山新特別基金の規定について

1. 新基金制度は団体および個人を対象とし、「積立・貸付」方式とする。

2. 第一種基金は団体を対象とし、「積立・貸付」方式とする。

3. 第二種基金は団体および個人を対象とし、「寄付金納付・交付」方式とする。

第3条 【運営】 新基金制度は積立金と寄付金等によって運営し、加入は任意とする。

2. 新基金制度への加入資格は次の各号のとおりとする。

(1) 全国連盟に加入している団体およびそれに属する個人であること。

(2) 団体にあってはその所在地、代表者の住居が明確であり、全国連盟費を滞納していないこと。

(3) 個人にあっては住居が明確であり、会費を滞納していないこと。

第6章 第二種基金

第23条 【性格】 第二種基金は加入登録した団体(以下、本章中において単に「加入団体」という)および個人(以下、本章中において単に「加入者」という)が山行中不測の災害を受け資金を必要としたとき、所定の手続きに基づき金員の交付を受けることができる。

第24条 【加入登録】 加入者は加入者の所属する団体の代表者として、地方連盟の承認を経て提出されるものとする。

3. 前項の書面の作成者は加入者の所属する団体の代表者として、地方連盟の承認を経て提出されるものとする。

4. 委員会は医師の診断書等、特に必要とする書類の添付、証拠となるものの提出を求めることができる。

第28条 【認定】 交付の可否の決定は委員会が行うものとする。

第29条 【交付】 加入者が本規定第3条、同27条に抵触したとき、または細則に定める山行規定に基づいていないときは、交付を受ける資格を失うものとする。【3面に続く】

優待施設情報

新規優待施設

【谷川連峰・巻機・武尊山】
やど千秋庵
優待率10% 電話 027
8-72-4378

【妙高・戸隠山】
シャレー戸隠
優待率10% 電話 026
1-254-2099

【鳳凰三山・夜叉神峠】
ペンション北地蔵
優待率5% 電話 055
1-280-6027

【霧ヶ峰】
コロポックル・ヒュッテ
優待率10% (8名以上で平
日のみ) 電話 0266-
58-0573

【立山・剣・黒部・薬師】
みくりが池温泉
10月4日〜6日 第11回み
くりが池温泉写真教室「立
山の秋と夜景を撮る」開催
撮影方法やカメラの使い方
を習得する実習撮影行。講
師は日本山岳写真集団の高

イベント情報

【北八ヶ岳・蓼科】
八ヶ岳湯元本沢温泉
8月8日「雲上での暑気は
らい」昼食メニュー
9月15日「きのこ祭」
10月17日「山神祭」
11月7日「鹿肉祭」
毎月26日「いい風呂の日」
先着3組の方にオリジナル
本沢手拭いプレゼント
☆詳しくは電話0266-
72-3260またはHP
<http://www.yatsuhon-zawa-onsen.com>

橋良行氏、全日本山岳写真
協会の関谷智彦氏。10月下
旬にはキノコフェアを開
催予定。
☆詳しくは電話076-4
65-4595またはHP
<http://www.mikuri.com>

【上信越国境・西上州】
高峰高原ホテル
8月 星空観望会
8月13日〜21日
9月 高山植物散策会
9月 高山植物散策会
10月 秋の味覚フェア、
紅葉狩りプラン
☆詳しくは電話0267-
25-3000またはHP
<http://www.takamine-kougen.co.jp>

【上高地・槍・穂高】
槍ヶ岳山荘
9月23日〜28日
9月 秋の味覚フェア、
紅葉狩りプラン
☆詳しくは電話0263-3
5-7200またはHP
<http://www.yarigatake.com>

橋良行氏、全日本山岳写真
協会の関谷智彦氏。10月下
旬にはキノコフェアを開
催予定。
☆詳しくは電話076-4
65-4595またはHP
<http://www.mikuri.com>



八ヶ岳本沢温泉の野天風呂「雲上の湯」



首都圏を代表する岩登りのゲレンデ、ミツ峠でのクリーンハイク

09クリーンハイクアピール

日本勤労者山岳連盟

日本勤労者山岳連盟は、
全国の加盟組織が「全国い
っせいにクリーンハイク」
に取り組みはじめてから36
年目を迎えました。

昨年の全国いっせいにクリ
ーンハイクは、41都道府県
の地方組織で457の山岳
会・山の会・クラブを取り
組まれ、360のコースに
8573名に及ぶ方々が参
加しました。そして回収さ
れたゴミは13トン以上に
及んでいます。

素晴らしい山岳自然を求
めていくために清掃登山をす

め、山歩きを楽しんでいる
ときにゴミが捨てられ汚さ
れているのは、登山の楽し
みを奪うものです。豊かな
山岳自然は国民の貴重な共
有財産でもあります。

私たちが、美しい山岳自
然の中で楽しい登山を続け
るために、山を汚さないこ
とにしています。そして、
これから山歩きをされる方
々が美しい山々を眺め、楽
しい思い出がつかれるよう
に、美しい山岳自然を守つ
ていくために清掃登山をす

2009年6月1日



北アルプス穂高岳滝谷第4尾根Cカンテ手前のピークに立つ

2009年度以降の全国集会・会議予定

- 機関会議・集会
 - 全国ハイキング交流集会
9月12日〜13日 (長野・唐沢鉱泉)
 - 全国自然保護担当者会議
11月14日〜15日 (長野・信濃大町)
 - 第29回全国総会
2010年2月20日〜21日 (東京・晴海GH)
- 行事・集会
 - 中央登山学校・指導者セミナー
7月4日〜5日 (東京・全国連盟事務所)
 - MFAインストラクター養成講座
秋 (未定)
 - 第9回全国救助隊交流集会
10月31日〜11月1日 (富山県登山研修所)
 - 第21回全国海外登山集会
11月28日〜29日 (千葉県)
- 第11回東日本女性登山交流集会
2010年1月23日〜24日 (東京・高尾の森)
- 第24回全国雪崩事故を防ぐための講習会
2010年2月12日〜14日 (千畳敷、黒姫山)
- 海外登山、トレッキング
 - 女性のためのヒマラヤ学校
6月23日〜10月27日 6コース
(インドヒマラヤ・ヒマチャル州)
- 国際会議・集会
 - アジア山岳連盟 (UAAA) 年次総会
10月24日 (中国・香港)
 - 友好山岳団体との共同の集会・会議等
7月17日
(東京・オリンピック青少年センター)

【2面より続く】

第30条 「交付の対象と算出方法」

交付金額および算出方法は細則の定めるところによる。

1. 傷病による入院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の入院日数3〜210日とする。
2. 傷病による入院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の入院日数3〜210日とする。
3. 傷病による病院等への通院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の通院日数3〜50日とする。
4. 個人加入に限り救助費用を交付の対象とする。
5. 交付は、個人、団体ににかかわらず登録期間中2件までとし、限度額の範囲内で交付する。

第31条 「交付金の受領者」
交付金の受領は、加入者の所属する団体の代表者がこれを行う。

第32条 「交付申請の期限」
交付を受けようとする者は、事故発生日より1年以内申請をしなければならない。ただし、特別の事由がありかつ期間内に委員会に連絡のあった場合はこの限りではない。

第33条 「交付金の返還」
交付を受けた後、交付当時に本規定に定める加入資格や交付資格のないこと、申請書記載事項が虚偽であったことが判明したときは、交付金を返還しなければならない。これは交付を受けたものとこれらに加担したものの連帯責任とする。

第34条 「加入登録の解消」
加入の登録を解消する場合、所定の手続きを要する。

※ 第7章以下、略

全国ハイキング交流集会

山中の一軒宿で
大いに語り合おう
「ハイキング文化を次代に引き継ぐために、いま何をすべきか」

- 日程 2009年9月12日 (土) 15:00〜13日 (日) 12:00
- 会場 八ヶ岳・唐沢鉱泉 長野県茅野市湖東1323
- 参加費 12000円 (一泊二食付き)
- 定員 100名
- 分科会
 - 第一分科会 「会運営・後継者育成と会員拡大」
 - 第二分科会 「事故防止と会員教育」

申込 所定の用紙で全国連盟まで

09年全国自然保護担当者会議

- 日程 2009年11月14日 (土)〜15日 (日)
- 会場 長野県信濃大町市 黒部観光ホテル
- 参加費 10000円 (一泊二食付き)
- メインテーマ 「地球温暖化と低炭素登山・山岳自然を大事にする登山について考える」
- 講演 有倉孝明氏 「ライチョウの生態系と地球温暖化」
飯田隆氏 「北アルプス立山の積雪観測から何が見えるか」

問い合わせ 全国連盟自然保護委員会

非常事態宣言が発表される!

今年の1月から5月までの5ヶ月間に死亡・行方不明者11名

非常事態宣言

日本労働者山岳連盟 山が最も多くなる夏山、秋山シーズンを向かえ、重大事故の発生が予測される。

09年度の死亡行方不明者が11名になってしまった。ほとんどがベテランと言われ、登山界、連盟、会でも精鋭的な山行活動を行っているリーダークラスの仲間であった。

事故の大半は気象遭難ともいえ、最近の異常気象は経験からくる予測をはるかに超えたものであったと推測される。また半年もたない時期に二桁の数字はまさに異常事態といえる。

山が最も多くなる夏山、秋山シーズンを向かえ、重大事故の発生が予測される。全ての登山会員へ重大事故防止に向けて非常事態宣言をおこなう。

都道府県連盟、会・クラブの遭難対策担当者および指導者 各位

☆無理な山行は計画段階で修正を

☆異常気象を事前に把握を

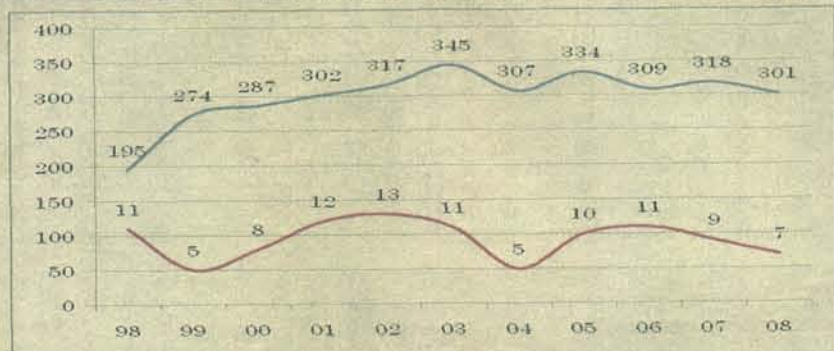
☆年齢相応の山行計画を

☆山では死なない、絶対に死なせない

2008年度事故一報より 2008年1月1日より12月31日

1. 過去10年間の事故の推移

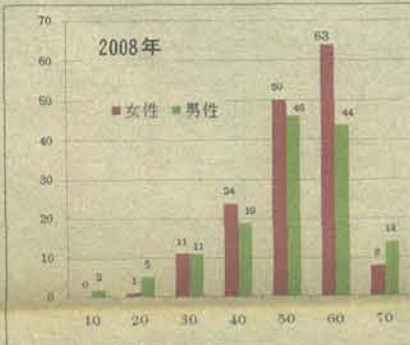
	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08
遭難事故者数	195	274	287	302	317	345	307	334	309	318	301
死亡行方不明	11	5	8	12	13	11	5	10	11	9	7



※死亡行方不明のグラフ曲線は実数値の10倍になっている。

2. 性別年齢別遭難事故の状況

2008年度			
年代	女	男	計
10	0	2	2
20	1	5	6
30	11	11	22
40	24	19	43
50	50	46	96
60	63	44	107
70上	8	14	22
無記	0	3	3
合計	157	144	301



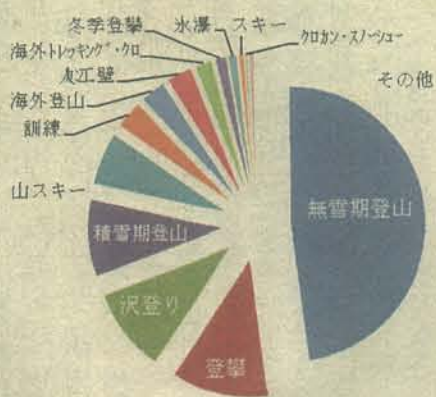
3. 時間別遭難事故状況

時間	2008	2007
0:00~5:00	1	6
5:00~6:00	0	2
6:00~7:00	4	8
7:00~8:00	9	8
8:00~9:00	17	18
9:00~10:00	16	15
10:00~11:00	37	31
11:00~12:00	33	46
12:00~13:00	29	33
13:00~14:00	44	43
14:00~15:00	28	48
15:00~16:00	23	25
16:00~17:00	19	12
17:00~18:00	4	4
18:00~19:00	6	5
19:00~20:00	2	3
20:00~21:00	2	1
21:00~0:00	6	5
不明	21	5
合計	301	318



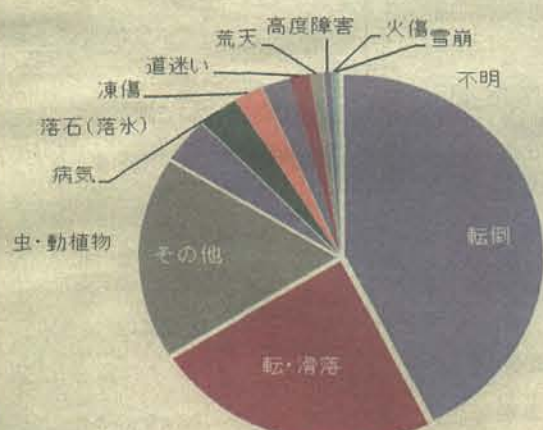
4. 山行形態別遭難事故状況

	2008	2007
無雪期登山	144	140
登攀	35	43
沢登り	30	49
積雪期登山	27	30
山スキー	19	22
訓練	10	12
海外登山	9	6
人工壁	9	8
海外トロッコ	6	0
冬季登攀	4	5
氷瀑	3	0
スキー	2	0
加加・スノー	1	1
その他	2	2
合計	301	318



5. 原因別遭難事故発生状況

	2008	2007
転倒	129	147
転・滑落	70	89
その他	54	39
虫・動植物	12	13
病気	10	3
凍傷	7	6
落石(落水)	7	8
道迷い	5	2
荒天	3	1
高度障害	2	2
火傷	1	3
雪崩	0	1
不明	1	1
合計	301	318



6. 都道府県別事故発生状況

08年07年間の数値は事故者数

連盟名	2008	2007	増減	会員数	事故比率	連盟名	2008	2007	増減	会員数	事故比率
東京都	69	81	-12	2850	2.42%	和歌山県	4	5	-1	397	1.01%
大阪府	32	28	4	1446	2.21%	熊本県	3	0	3	103	2.91%
兵庫県	23	30	-7	1972	1.17%	高知県	3	2	1	175	1.71%
道央	19	17	2	644	2.95%	佐賀県	3	2	1	95	3.16%
福岡県	14	9	5	992	1.41%	福井県	3	2	1	60	5.00%
京都府	11	11	0	912	1.21%	茨城県	2	5	-3	217	0.92%
神奈川県	11	14	-3	649	1.69%	広島県	2	1	1	229	0.87%
静岡県	10	7	3	779	1.28%	高知県	2	2	0	228	0.88%
群馬県	9	10	-1	479	1.88%	福島県	2	1	1	161	1.24%
愛知県	8	14	-6	1157	0.69%	山口県	1	4	-3	107	0.93%
宮城県	7	2	5	324	2.16%	山梨県	1	1	0	99	1.01%
埼玉県	7	7	0	579	1.21%	鹿児島県	1	2	-1	135	0.74%
千葉県	6	15	-9	737	0.81%	大分県	1	0	1	35	2.86%
栃木県	6	3	3	499	1.20%	鳥取県	1	0	1	40	2.50%
岡山県	5	2	3	683	0.79%	奈良県	1	2	-1	310	0.32%
石川県	5	3	2	255	1.75%	富山県	1	1	0	210	0.48%
長崎県	5	18	-13	388	1.29%	福井県	1	0	1	89	1.12%
長野県	5	3	2	458	1.09%	香川県	1	2	-1	316	0.32%
宮城県	4	3	1	250	2.00%	徳島県	0	2	-2	270	0.00%
岐阜県	4	5	-1	252	1.59%	新潟県	0	1	-1	268	0.00%
宮崎県	4	0	4	51	7.84%	沖縄県	0	1	-1	48	0.00%
滋賀県	4	1	3	276	1.45%	合計	301	318	-16	20555	1.47%